

素子形式	D1UOR-35	器具番号		製造番号	
------	----------	------	--	------	--

## 1. 動作値

(試験条件) 動作時間整定: 最小

要素\整定	0.05A	1.25A	2.50A	判定基準
51G1	A	A	A	整定値の±5%以内
51G2	A	A	A	
許容誤差範囲	0.048~0.052A	1.19~1.31A	2.38~2.62A	

## 2. 動作時間

(試験条件) 動作値整定: 最小 0→整定×200% (最小整定は3回測定)

要素\整定	INST	15.0s	30.0s	判定基準
51GT1	~ ms	s	s	整定値の±5%以内 最小整定時は、 50ms以下 (※)許容誤差の下限值 : ±50ms
51GT2	~ ms	s	s	
許容誤差範囲	50ms以下	14.3~15.7s	28.5~31.5s	

## 3. 第2高調波抑制

(試験条件) 動作値整定: 最小、動作時間整定: 最小、基本波入力: 動作値整定×300%

要素\整定	13%	判定基準
2f抑制	%	±2%以内
許容誤差範囲	11~15%	

※パネルLED(2f抑制)点灯にて動作とする。

## [共通項目]

## 1. 負担

判定基準: 公称値の110%以内

回路	定格	公称値	測定値	測定値	判定
CT2次回路	I <sub>o</sub>	5 A	0.3 VA	mV	VA
制御電源	110 V	5 W	mA	W	

2. 制御電源試験 制御電源入切、低下、上昇にて誤動作・誤表示がない事を確認する。
3. 強制動作試験 強制動作にて表示、接点出力を確認する。
4. ランプテスト ランプテストにてパネル表示を確認する。
5. 自動監視試験 常時監視異常検出動作、点検動作にて異常の無い事を確認する。

判定	
判定	
判定	
判定	